

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2005/09/11 Vol. 67 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

印西市議会平成 17 年第 3 回定例会が開催されます。

今回の定例会は 9 月 8 日（水曜日）から 10 月 14 日（金曜日）まで行われます。

（* 今回の定例会の付議案件については、条例の制定（子育て支援センターの設置および管理に関する条例 / 学童クラブの設置および管理に関する条例の制定）が 2 件、条例の改正（農業近代化資金利子補給条例の一部を改正他）が 5 件、補正予算の審議が 4 件、平成 16 年度の決算認定が 6 件、固定資産評価委員会の委員の選任の同意について他の議案が提案されます。）

「ぐんじとしのり」は、9 月 11 日（月曜日）午後 1 時過ぎから、90 分間の市民自治ネットワーク代表質問に立ちます。（今回は、「印西市のまちづくりについて」「コミュニティの自律経営について」「牧の原駅圏の将来について」の 3 点を質問テーマとします。）（その内容は抜粋して後述します。）お時間があるかたは、是非とも傍聴にお越しください。

傍聴を希望される方は、印西市役所 5 階にて諸手続きを行い、傍聴券の交付を受け、傍聴を行うこととなります。尚、定員は 36 名です。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり 第 3 回（9 月）定例会 代表質問内容

以下の内容を議会事務局に既に提出し、今回の議会で質問に立ちます。

1. 印西市のまちづくりについて

千葉ニュータウン中央駅前では、南口旧ダイエー跡地にパチンコ屋やゲームセンターの進出を住民が知らないうちに許し、住民の苦情が起こったとともに、街の景観を品のないものになっている。それにもかかわらず、印西市当局は何ら対策を講じず、再びその東側にパチンコ屋の出店を許そうとしている。千葉ニュータウンの表玄関である駅前にパチンコ屋が 2 軒も並ぶというのはまちづくりについての理念が全くないに等しいと考える。

（1）土地基本法は、土地についての基本理念を定め、並びに国、地方公共団体、事業者及び国民の土地についての基本理念に係る責務を明らかにするとともに、土地に関する施策の基本となる事項を定めることにより、適正な土地利用の確保を図りつつ正常な需給関係と適正な地価の形成を図るための土地対策を総合的に推進し、もって国民生活の安定向上と国民経済の健全な発展に寄与することを目的としている。また同法では、土地について「公共の福祉優先」や「適正な利用及び計画に従った利用」を掲げている。しかし、印西市では同法に対する理解が全くされていず、「土地についての基本理念」に則った土地利用施策に関する施策を総合的に策定すること及び実施する責務を怠っている。また、土地についての基本理念に関する国民の理解を深めるよう適切な措置を講じなければならないとされているにも関わらず、印西市では何ら啓発活動が行われていない。

南口「パチンコ屋進出予定地について」

- 今回の問題となっている土地は、地域の自然的、社会的、経済的及び文化的諸条件に応じて適正に利用されるものとするか。
- また、今回の進出計画は、適正かつ合理的な土地利用を図るため策定された土地利用に関する計画に従って利用されたものとするか。

北口「ジャスコの増床について」

増床計画では建物と建物の連絡通路を「市道」の上に設置し、来店者の利便性という面のみを考え、当初、千葉ニュータウンが描いていたまちづくりの計画と大きく異なったものになっていると考える。

市ではこの開発をどのように考え、指導を行ったのか。

牧の原地区への企業進出について

進出企業が出店に伴ない、説明を行っていかうという姿勢は評価すべきであると考えながら、反面、図面を引いた後に意見を求められても設計の変更ができるかどうか疑問が残る。再三再度の市当局を通じて、情報提供を求めたが、結局は図面ができた後の説明なのが、実情である。今後、牧の原住民の声を行政としてどのようにとらえ、企業に伝え、よりよいまちづくりを行っていくのか。

(2) 印西市は基本構想に掲げる将来都市像をどのように実現し、市民生活を豊かなものにするができるのか？また、昨年7月に就任した山崎市長は「市民自らが地域で積極的に自主的に解決できるシステムを創ります」との市民主導の市政という公約をどのように実現していくことができるのか。市民が解決できるシステムさえ見出せないように思える。

(3) パチンコ屋の出店について、制限を行い、積極的に関与していかうとする自治体が全国レベルではあるにもかかわらず、印西市では「風営法で認められているから、市が直接関与できるものではない」と他自治体の事例の研究さえ行われていないようだ。

NT中央駅南口前にパチンコ屋が2件目ができるという事実に、印西市はただ、前回と同じように「風営法で認められ、手続きに則って開業していく」ので何もできないと考えるのか。それとも、住民との間に立ち、住民の利益につながるように積極的に関与していくのか。今回のパチンコ屋進出については何ができるのか。

印西市では前回のトラブルから、何を学習したのか。

事例の研究、検討をするのであれば、いつ頃までに、具体的に何をを目指すのか。それとも前回と同じように建物が完成し、開業し、ほとぼりが冷めるのを待つのか。

2. コミュニティの自律経営について

会派「市民自治ネットワーク」では、あるべき町内会/自治会像を目指して、他市の会派と共に視察を行っている。そして、視察や研修を繰り返す中で、多くの先進市では町内会/自治会をはじめとしたコミュニティの形成については、住民が自らの地域社会の事項を自らの責任と判断で決定し、実現していく「住民自治」を到達目標としているように感じている。印西市でも「住民自治」を目標とし、市民と行政がともに考え、協働していく活力あるコミュニティを目指していくべきだと考える。地域コミュニティの現状と課題をどのように考えているのか。

3. 牧の原駅圏の将来について

- (1) 「牧の原モア」開業時に予想される交通渋滞について、市は十分な対策を講じているのか。
- (2) 通量の増大に伴ない牧の原地区を中心とした、道路整備計画は、どのようになっているのか。また、地区内の駐車禁止規制についての希望は依然として何の進捗もない。どのようになっているのか。
- (3) 企業進出に伴い、北総鉄道との連携については、前回の議会で例えば「新鎌ヶ谷～印旛日医大 乗り放題 ¥500」切符など、どうだと提案させていただいている。市としては北総鉄道との連携を今後、具体的にどのようにとっていくのか？

松山下公園総合体育館建設を否決しました。

私も建設に反対しました。(賛成8 / 反対12 / 棄権1 / 欠席1)

本来はこの紙面でご報告を行うのですが、紙面の関係で今回は採決結果のみの提示とさせていただきます。(某ミニコミ誌で書かれている内容については、議員への取材が充分でなく、またこの紙面でお伝えしている「文教福祉常任委員会」への傍聴取材も足りなかったのではないかと考えています。)

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり